

大田原市事務事業評価兼実施計画シート

令和7年度版

★ PDCAサイクルを回して事務事業を改善しよう！

1. 基本事項

							事業番号	190	評価年度	令和7年度事業	
							優先度	A	シート区分	総合計画	
事務事業名	シルバー人材センター補助事業						計 画	おおたわら国造りプラン			
担当名	部 名	課 名	係 名			政策		計画での位置付け		No.	
	保健福祉部	高齢者幸福課	高齢支援係			政策4 いたわり、支えあい、すべての市民が健康で安心して暮らせる心のかよったまちづくり			4		
予算科目	会計名	款・項・目	事業(大)	事業(中)	事業(小)	施策	(23)高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実		23		
	一般会計	03.01.01	0063	02	00	基本事業					
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		(~		年度)			

2. 計画(Plan)

(1) 計画内容	対 象	この事業で誰(何)を対象にしているかを、具体的に記入します。 公益社団法人大田原市シルバー人材センター
	目 的	何のためにこの事業を行うかを記入します。 就業意欲のある高齢者に対し、臨時的短期的な就業の機会を組織的に提供し、就業を通じて高齢者の福祉の増進を図る。
	手 段	この事業のためどのような行政活動を行うかを記入し、この行政活動の結果からつくり出すものを活動指標欄(下記)に記入します。 公益社団法人大田原市シルバー人材センターが行う高齢者就業機会確保事業の実施に要する経費及びセンターの運営に要する経費の一部について交付する。
	成 果	この事業を行うことによって、どのような成果・効果があるか記入し、その最終的な成果を成果指標欄(下記)に記入します。 財政的支援により高齢者の活力ある就業の場の確保及び人材センターの基盤強化を図る。

(2) 指標設定	指 標 内 容		指 標 名 称	目標値の算出式(又は方法)	目標値	単位
	活動指標	行政活動の結果からつくりだすもの	①	補助金交付額	予算から	18,400
②						
③						
成果指標	事業実施による最終的な成果・効果	①	会員数	前年度の実績	271	人
		②	入会率	前年度の実績	1	%
		③	受託契約金額	前年度の実績	151,681	千円

3. 実行 (Do)

(1) 事業の実施状況 (前年度比較等) ※新規事業は事業が必要な理由及び概要	シルバー人材センターが行う事業のうち、国が指定する高齢者就業機会確保事業の実施に要する経費の一部に対し補助金を交付した。
(2)備考	

(3) コスト計算	内 容		令和5年度 決算額	令和6年度 予算額		
	事業費計		18,450	18,450		
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0		
		県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
一般財源		18,450	18,450			
(c) コストの対前年比			100.00%			

4. 評価 (Check)

(1) 妥当性 評価	評価内容			評価点数	合計点数	妥当性評価
	①	自治体が実施するのが妥当な事業である(あった)か。	妥当性	高い・・・	4	14
②	計画(対象・目的・手段)は妥当である(あった)か。	やや高い・・・		3		
③	資金(税金)投入は妥当である(あった)か。	やや低い・・・		2		
④	上位政策・施策を達成するのに妥当である(あった)か。	低い・・・		1		

(2) 効率性 評価	活動指標名	目標値 a	実績値 b	指標の性質		達成率 b/a	効率性評価	
		単位					各指標評価	指標全体評価
①	補助金交付額	18,400	18,400	1	増加指標	100.00 %	a	a
②					算定不可	%		
③					算定不可	%		

(3) 有効性 評価	成果指標名	目標値 c	実績値 d	指標の性質		達成率 d/c	有効性評価	
		単位					各指標評価	指標全体評価
①	会員数	271	266	1	増加指標	98.20 %	a	a
②	入会率	1	1	1	増加指標	98.10 %	a	
③	受託契約金額	151,681	150,483	1	増加指標	99.20 %	a	

(4) 担当課 評価	前年度記載 今後の取組 (修正、改善 等)		シルバー人材センターに対し、事業費補助等の財政支援を図るとともに広報・周知に努めるよう働きかけ、充実・強化を図る。
	前年度から の改善結果	改善した	シルバー人材センターに対し、事業費補助等の財政支援を行い、対象経費における役員報酬について見直しを行った。 専門的な技術を持った会員を確保するため、広報紙等による周知活動に努めた。
	評価表からの 評価	担当課 評価	評価の理由等
	A	A	高齢者の求職の機会を確保するため、補助金の交付による支援を行うことは必要である。 高齢化社会が急速に進展する中で、健康で働く意欲と能力を持った高齢者の就業を促進することは、高齢者の生きがいづくりだけではなく、地域の活性化にもつながるものと期待している。

5. 今後の取組に向けて (Act)

(1) 事業実施上の 課題等	<p>定年延長や継続雇用制度の実施によって、退職せずに継続して勤める人が多くなっているため、必要な人材の確保が難しい状況になってきている。</p> <p>※R5(2023)年度入会率 266/26,073≒1.02%(会員数/60歳以上人口)</p> <p>令和6年度に事務所の移転が予定されている。</p> <p>補助金の額について、令和5年度に理事長報酬等の取扱いに対する見直しを行ったが、増額の要望を受けている。</p>
(2) 今後の取組 (修正・改善等)	<p>シルバー人材センターに対し、事業費補助等の財政支援を図るとともに広報・周知に努めるよう働きかけ、充実・強化を図る。</p> <p>補助金の額を適正に算出するため、財務や事業内容の把握に努める。</p>

6. 部内評価会議の結果 <最終評価>・・・行政評価

実施日	最終評価	今後の取組(修正・改善等)【最終結果】
R06.07.18	A	シルバー人材センターに対し、事業費補助等の財政支援を継続する。また、高齢者の雇用増進につながる新サービス開発等に努めるよう働きかける。

大田原市事務事業評価兼実施計画シート

令和7年度版

★ PDCAサイクルを回して事務事業を改善しよう！

1. 基本事項

		事業番号	314	評価年度	令和7年度事業	
		優先度	B	シート区分	総合計画	
事務事業名	福祉センター管理費			計画	おおたわら国造りプラン	
担当名	部名	課名	係名		計画での位置付け	No.
	保健福祉部	高齢者幸福課	地域支援係		政策	4
予算科目	会計名	款・項・目	事業(大)	事業(中)	事業(小)	施策
	一般会計	03.01.01	0351	01	00	(23)高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		(~ 年度)		

2. 計画(Plan)

(1) 計画内容	対象	この事業で誰(何)を対象にしているかを、具体的に記入します。 大田原市福祉センター
	目的	何のためにこの事業を行うかを記入します。 高齢者の支援や乳幼児の健診等に利用されている施設であるが、建築から30年以上経過しており建物や設備に不具合が生じている。 建物の修繕や設備の更新により不具合を解消する。
	手段	この事業のためどのような行政活動を行うかを記入し、この行政活動の結果からつくり出すものを活動指標欄(下記)に記入します。 改修計画に基づいた建物の修繕や設備の更新を行う。 また、改修計画にない不具合が認められた場合は、緊急性の有無を判断した上で適切に対処する。
	成果	この事業を行うことによって、どのような成果・効果があるか記入し、その最終的な成果を成果指標欄(下記)に記入します。 適切な維持管理を行うことにより施設の寿命を延ばし、併せて利用者の利便性を向上させる。

(2) 指標設定	指標内容		指標名称	目標値の算出式(又は方法)	目標値	単位
	活動指標	行政活動の結果からつくりだすもの	①	高圧受変電設備 機器改修	機器改修工事实施	1
②						
③						
事業実施による最終的な成果・効果		①	高圧受変電設備 寿命延伸	法定耐用年数	15	年
		②				
		③				

3. 実行 (Do)

(1) 事業の実施状況 (前年度比較等) ※新規事業は事業が必要な理由及び概要	福祉センターの高圧受変電設備更新工事を行い、設備の寿命延伸を行った。 また、不具合が起きていた自動ドア2基の更新工事や自動ドア前に侵入防止柵を設置した。 年度末に調理室の天井埋込型エアコンが使用不可となったため、置型エアコンを設置した。
(2)備考	

(3) コスト計算	内 容		令和5年度	令和6年度		
			決算額	予算額		
	事業費計		10,043	10,289		
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0		
		県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
一般財源		10,043	10,289			
(c) コストの対前年比			102.45%			

4. 評価 (Check)

(1) 妥当性 評価	評価内容			評価点数	合計点数	妥当性評価
	①	自治体が実施するのが妥当な事業である(あった)か。	妥当性	高い・・・	4	16
②	計画(対象・目的・手段)は妥当である(あった)か。	やや高い・・・		3		
③	資金(税金)投入は妥当である(あった)か。	やや低い・・・		2		
④	上位政策・施策を達成するのに妥当である(あった)か。	低い・・・		1		

(2) 効率性 評価	活動指標名	目標値 a	実績値 b	指標の性質		達成率 b/a	効率性評価		
		単位					各指標評価	指標全体評価	
①	高圧受変電設備 機器改修	1	式	1	1	増加指標	100.00	%	a
②						算定不可		%	a
③						算定不可		%	

(3) 有効性 評価	成果指標名	目標値 c	実績値 d	指標の性質		達成率 d/c	有効性評価		
		単位					各指標評価	指標全体評価	
①	高圧受変電設備 寿命延伸	15	年	15	1	増加指標	100.00	%	a
②						算定不可		%	a
③						算定不可		%	

(4) 担当課 評価	前年度記載 今後の取組 (修正、改善 等)								
	前年度から の改善結果								
	評価表からの 評価	担当課 評価	評価の理由等						
	A	A	地域包括支援センターの事務所としてだけでなく、市の乳幼児健診や西部地区社会福祉協議会の配食サービスに使われている施設であるため、今後も継続して施設を利用できるように修繕工事を行う必要があったが、必要な修繕工事を行うことができた。						

5. 今後の取組に向けて (Act)

(1) 事業実施上の 課題等	築30年以上の施設であるため、照明や空調機器、衛生器具・給排水管設備などの更新が必要となる。
(2) 今後の取組 (修正・改善等)	照明のLED化や空調更新工事、衛生器具・給排水管設備更新工事を行い、地域包括支援センターの運営や市の事業が円滑に進むように修繕計画を立てて更新していく。

6. 部内評価会議の結果 <最終評価>・・・行政評価

実施日	最終評価	今後の取組(修正・改善等)【最終結果】
R06.07.18	A	照明のLED化や空調更新工事、衛生器具・給排水設備更新工事を行い、地域包括支援センターの運営や市の事業が円滑に進むように修繕計画を立てて更新していく。

大田原市事務事業評価兼実施計画シート

令和7年度版

★ PDCAサイクルを回して事務事業を改善しよう！

1. 基本事項

事業番号	193	評価年度	令和7年度事業					
優先度	B	シート区分	総合計画					
事務事業名	ねたきり高齢者等介護手当支給事業			計画	おおたわら国造りプラン			
担当名	部名	課名	係名		計画での位置付け	No.		
	保健福祉部	高齢者幸福課	高齢支援係		政策	政策4 いたわり、支えあい、すべての市民が健康で安心して暮らせる心のかよったまちづくり	4	
予算科目	会計名	款・項・目	事業(大)	事業(中)	事業(小)	施策	(23)高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実	23
	一般会計	03.01.01	0352	01	00	基本事業		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度 (~ 年度)							

2. 計画(Plan)

(1) 計画内容	対象	この事業で誰(何)を対象にしているかを、具体的に記入します。 ねたきり高齢者等(ねたきり高齢者・認知症高齢者・重度身体障害者)を在宅で介護している者
	目的	何のためにこの事業を行うかを記入します。 ねたきり高齢者等介護手当を支給することにより、対象者の介護の労をねぎらうとともに福祉の増進を図る。
	手段	この事業のためどのような行政活動を行うかを記入し、この行政活動の結果からつくり出すものを活動指標欄(下記)に記入します。 ねたきり高齢者等の在宅介護者に対し、手当を年2回(9月・3月)支給する。
	成果	この事業を行うことによって、どのような成果・効果があるか記入し、その最終的な成果を成果指標欄(下記)に記入します。 ねたきり高齢者等の在宅介護者の身体的・精神的負担を軽減することをねらいとし、もって福祉の増進を図ることができる。

(2) 指標設定	指標内容		指標名称		目標値の算出式(又は方法)	目標値	単位
	活動指標	行政活動の結果からつくりだすもの	① 手当支給金額			予算から	7,200
②							
③							
成果指標	事業実施による最終的な成果・効果	① 手当支給延月数			前年度実績より	2,327	月
		②					
		③					

3. 実行 (Do)

(1) 事業の実施状況 (前年度比較等) ※新規事業は事業が必要な理由及び概要	要介護認定の結果、要介護4又は5の認定を受けた在宅のねたきりや認知症の高齢者等の介護者に対して、介護手当を支給している。
(2)備考	

(3) コスト計算	内 容		令和5年度	令和6年度			
			決算額	予算額			
事業費計	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0			
		県支出金	0	0			
		地方債	0	0			
		その他特定財源	0	0			
		一般財源	6,928	7,120			
(c) コストの対前年比				102.77%			

4. 評価 (Check)

(1) 妥当性 評価	評価内容			評価点数	合計点数	妥当性評価
	①	自治体を実施するのが妥当な事業である(あった)か。	妥当性	高い・・・	4	13
②	計画(対象・目的・手段)は妥当である(あった)か。	やや高い・・・		3		
③	資金(税金)投入は妥当である(あった)か。	やや低い・・・		2		
④	上位政策・施策を達成するのに妥当である(あった)か。	低い・・・		1		

(2) 効率性 評価	活動指標名	目標値 a	実績値 b	指標の性質		達成率 b/a	効率性評価		
		単位					各指標評価	指標全体評価	
①	手当支給金額	7,200	千円	6,909	1	増加指標	96.00	%	a
②						算定不可		%	
③						算定不可		%	

(3) 有効性 評価	成果指標名	目標値 c	実績値 d	指標の性質		達成率 d/c	有効性評価		
		単位					各指標評価	指標全体評価	
①	手当支給延月数	2,327	月	2,303	1	増加指標	99.00	%	a
②						算定不可		%	
③						算定不可		%	

(4) 担当課 評価	前年度記載 今後の取組 (修正、改善 等)		介護者の労をねぎらい在宅福祉の向上を図るため、関係機関と連携を図りながら推進していく。
	前年度から の改善結果	改善した	ケアマネジャー等の説明会等を通じて事業概要、申請方法等の周知に努めた。
	評価表からの 評価	担当課 評価	評価の理由等
	A	A	福祉課との連携により、障害者に対し事業周知及び介護手当の認定を行った。また、ケアマネジャーとの連携を密にし、申請や変更、喪失の手続きを的確に行うことができた。

5. 今後の取組に向けて (Act)

(1) 事業実施上の 課題等	対象者を詳細に把握する方法がなく、申請漏れや超過給付が発生する可能性がある。 入院や介護認定の区分変更等の変更・喪失把握と届の提出について、ケアマネジャーの協力を要する。
(2) 今後の取組 (修正・改善等)	介護者の労をねぎらい在宅福祉の向上を図るため、関係機関と連携を図りながら推進していく。

6. 部内評価会議の結果 <最終評価>・・・行政評価

実施日	最終評価	今後の取組(修正・改善等)【最終結果】
R06.07.18	A	関係事業者等と連携を図りながら事業を継続し、介護者の労をねぎらい在宅福祉の向上を図ることとする。 該当者への周知を今後も徹底し、新規申請の認定を遅滞なく行う。

大田原市事務事業評価兼実施計画シート

令和7年度版

★ PDCAサイクルを回して事務事業を改善しよう！

1. 基本事項

		事業番号	313		評価年度	令和7年度事業		
		優先度	A		シート区分	総合計画		
事務事業名	地域介護福祉空間整備等事業				計画	おおたわら国造りプラン		
担当名	部名	課名	係名			計画での位置付け		No.
	保健福祉部	高齢者幸福課	介護管理係		政策	政策4 いたわり、支えあい、すべての市民が健康で安心して暮らせる心のかよったまちづくり		4
予算科目	会計名	款・項・目	事業(大)	事業(中)	事業(小)	施策	(23)高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実	
	一般会計	03.01.01	0757	01	00	基本事業		
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		(令和5 ~ 令和5 年度)				

2. 計画(Plan)

(1) 計画内容	対象	この事業で誰(何)を対象にしているかを、具体的に記入します。 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)を整備する法人
	目的	何のためにこの事業を行うかを記入します。 認知症高齢者が入居する介護サービス基盤を整備することにより、在宅での介護が難しくなった高齢者の保健と福祉の増進を図る。
	手段	この事業のためどのような行政活動を行うかを記入し、この行政活動の結果からつくり出すものを活動指標欄(下記)に記入します。 栃木県地域医療介護総合確保基金事業を活用し、整備に必要な経費の一部を補助金として交付する。
	成果	この事業を行うことによって、どのような成果・効果があるか記入し、その最終的な成果を成果指標欄(下記)に記入します。 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)1件(18床)が整備される。

(2) 指標設定	指標内容		指標名称		目標値の算出式(又は方法)	目標値	単位	
	活動指標	行政活動の結果からつくりだすもの	①	認知症対応型共同生活介護の整備	整備件数		1	件
②								
③								
成果指標		事業実施による最終的な成果・効果	①	認知症対応型共同生活介護の整備	整備件数		1	件
			②					
			③					

3. 実行 (Do)

(1) 事業の実施状況 (前年度比較等) ※新規事業は事業が必要な理由及び概要	大田原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第8期計画)で計画していた認知症対応型共同生活介護(グループホーム)1件(18床)を令和5年度に整備し、予定通り令和6年4月1日に開設となった。
(2)備考	

(3) コスト計算	内 容		令和5年度 決算額	令和6年度 予算額			
	財 源 内 訳	事業費計		48,702	0		
財 源 内 訳		国庫支出金	0	0			
		県支出金	48,702	0			
		地方債	0	0			
		その他特定財源	0	0			
		一般財源	0	0			
(c) コストの対前年比				0.00%			

4. 評価 (Check)

(1) 妥当性 評価	評価内容			評価点数	合計点数	妥当性評価
	①	自治体を実施するのが妥当な事業である(あった)か。	妥当性	高い・・・	4	16
②	計画(対象・目的・手段)は妥当である(あった)か。	やや高い・・・		3		
③	資金(税金)投入は妥当である(あった)か。	やや低い・・・		2		
④	上位政策・施策を達成するのに妥当である(あった)か。	低い・・・		1		

(2) 効率性 評価	活動指標名	目標値 a	実績値 b	指標の性質	達成率 b/a	効率性評価		
		単位				各指標評価	指標全体評価	
①	認知症対応型共同生活介護の整備	1	1	1	増加指標	100.00	%	a
②					算定不可		%	a
③					算定不可		%	

(3) 有効性 評価	成果指標名	目標値 c	実績値 d	指標の性質	達成率 d/c	有効性評価		
		単位				各指標評価	指標全体評価	
①	認知症対応型共同生活介護の整備	1	1	1	増加指標	100.00	%	a
②					算定不可		%	a
③					算定不可		%	

(4) 担当課 評価	前年度記載 今後の取組 (修正、改善 等)	第9期計画期間(令和6年度から令和8年度まで)は高齢者施設の整備を行わないが、今後の高齢者人口の伸びや国・県の動向等を踏まえて、令和9年度以降の施設整備を慎重に判断していく。	
	前年度からの 改善結果	改善した	平成28年度以来の施設整備であったが、大きなトラブルもなく目的を達成。
	評価表からの 評価	担当課 評価	評価の理由等
	A	A	大田原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第8期計画)で計画していた認知症対応型共同生活介護(グループホーム)1件(18床)を令和5年度に整備し、予定通り令和6年4月1日に開設できた。

5. 今後の取組に向けて(Act)

(1) 事業実施上の 課題等	「地域介護福祉空間整備等事業」は、新規及び既存の介護施設の整備のために行われる事業である。新規の施設整備においては、「大田原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」での位置付けが必要となり、本計画は3年に1度見直されるため、中長期的な計画を立てることは難しい状況にある。
(2) 今後の取組 (修正・改善等)	令和5年度は、「大田原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画第9期計画(計画期間:令和6年度から令和8年度)」の策定年度となっている。在宅での介護が難しくなった要介護者の増加に対応するため、施設・居住系の介護施設の整備が必要となるが、近い将来、高齢者人口もピークになることが推計されていることから、今後の介護サービス見込量を考慮し施設整備を行っていく。

6. 部内評価会議の結果 <最終評価>・・・行政評価

実施日	最終評価	今後の取組(修正・改善等)【最終結果】
R06.07.18	A	令和6年度から令和8年度までは、本事業による介護基盤の整備は実施しない。

大田原市事務事業評価兼実施計画シート

令和7年度版

★ PDCAサイクルを回して事務事業を改善しよう！

1. 基本事項

							事業番号	197	評価年度	令和7年度事業	
							優先度	A	シート区分	総合計画	
事務事業名	高齢者支援事業						計 画	おおたわら国造りプラン			
担当名	部 名	課 名	係 名			政策		計画での位置付け			No.
	保健福祉部	高齢者幸福課	高齢支援係				政策4 いたわり、支えあい、すべての市民が健康で安心して暮らせる心のかよったまちづくり			4	
予算科目	会計名	款・項・目	事業(大)	事業(中)	事業(小)	施策	(23)高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実			23	
	一般会計	03.01.03	0071	01	00	基本事業					
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		(~	年度)			

2. 計画(Plan)

(1) 計画内容	対 象	この事業で誰(何)を対象にしているかを、具体的に記入します。 在宅の要介護高齢者及びひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯
	目 的	何のためにこの事業を行うかを記入します。 要介護高齢者及びひとり暮らし高齢者等に対し、住み慣れた地域社会の中で安心して生活していくことができるような支援をするとともに、要介護高齢者等の保健・福祉の向上を図る。
	手 段	この事業のためどのような行政活動を行うかを記入し、この行政活動の結果からつくり出すものを活動指標欄(下記)に記入します。 介護保険の訪問介護に含まれない軽易な日常生活の支援を行う。 外出支援事業においては、福祉車両により居宅から医療機関等までの「通院等の交通の便」を確保する。
	成 果	この事業を行うことによって、どのような成果・効果があるか記入し、その最終的な成果を成果指標欄(下記)に記入します。 高齢者の自立と生活の質の確保、寝たきり予防に寄与する。

(2) 指標設定	指 標 内 容		指 標 名 称		目標値の算出式(又は方法)	目標値	単位
	指標設定	活動指標	行政活動の結果からつくりだすもの	① 軽度生活援助事業利用回数	前年度の実績から5%増加	1,713	回
② 高齢者等外出支援事業決定人数				前年度の実績から5%増加	140	人	
③ 緊急通報装置新規取付件数				月1件×12月	12	件	
成果指標		事業実施による最終的な成果・効果	① 軽度生活援助事業利用者数	あんしんプラン(第8期計画)から	138	人	
			② 高齢者等外出支援事業利用者数	あんしんプラン(第8期計画)から	542	人	
			③ 緊急通報装置利用件数	あんしんプラン(第8期計画)から	150	件	

3. 実行 (Do)

(1) 事業の実施状況 (前年度比較等) ※新規事業は事業が必要な理由及び概要	各要綱に基づき、生活支援に関する各種サービスを提供した。 外出支援事業に使用している車両については、走行距離が毎年一台当たり平均3万キロを超えて走行している。
(2)備考	

(3) コスト計算	内 容		令和5年度	令和6年度		
			決算額	予算額		
(3) コスト計算	事業費計		35,477	36,500		
	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0		
		県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	35,477	36,500		
(c) コストの対前年比			102.88%			

4. 評価 (Check)

(1) 妥当性 評価	評価内容			評価点数	合計点数	妥当性評価
	①	自治体を実施するのが妥当な事業である(あった)か。	妥当性	高い・・・	4	16
②	計画(対象・目的・手段)は妥当である(あった)か。	やや高い・・・		3		
③	資金(税金)投入は妥当である(あった)か。	やや低い・・・		2		
④	上位政策・施策を達成するのに妥当である(あった)か。	低い・・・		1		

(2) 効率性 評価	活動指標名	目標値 a	単位	実績値 b	指標の性質		達成率 b/a	効率性評価	
								各指標評価	指標全体評価
①	軽度生活援助事業利用回数	1,713	回	1,537	1	増加指標	89.70 %	b	c
②	高齢者等外出支援事業決定人数	140	人	155	1	増加指標	110.70 %	a	
③	緊急通報装置新規取付件数	12	件	8	1	増加指標	66.70 %	c	

(3) 有効性 評価	成果指標名	目標値 c	単位	実績値 d	指標の性質		達成率 d/c	有効性評価	
								各指標評価	指標全体評価
①	軽度生活援助事業利用者数	138	人	107	1	増加指標	77.50 %	c	c
②	高齢者等外出支援事業利用者数	542	人	568	1	増加指標	104.80 %	a	
③	緊急通報装置利用件数	150	件	108	1	増加指標	72.00 %	c	

(4) 担当課 評価	前年度記載 今後の取組 (修正、改善 等)		今後も高齢者の各種在宅サービスを実施し、高齢者の自立と生活の質の確保、寝たきり予防に寄与する。 外出支援車両の的確な運用と更新の見極めを行う。 必要な情報を地域に提供し、災害時や緊急時の際に活用してもらう。
	前年度から の改善結果	改善した	適切に高齢者の各種在宅サービスを実施し、高齢者の自立と生活の質の確保、寝たきり予防に努めた。 外出支援車両の運用について実態を把握し、更新の見極めを行った。
	評価表からの 評価	担当課 評価	評価の理由等
	B	A	効率性、有効性の評価が低くでているが、対象者にとって地域や家族(携帯電話等も含め)の見守りや生活支援サービスの利用は不可欠のものであり、サービスの利用も浸透してきていると考えられる。 今後も継続して生活支援サービスを提供する必要がある。

5. 今後の取組に向けて (Act)

(1) 事業実施上の 課題等	申請に当たり、ケアマネジャー等の協力と理解を得る必要があることから、広報周知や研修などを行う必要がある。 外出支援事業に使用している車両については、修繕費がかさむ状況にあるため、計画的に更新を行う必要がある。
(2) 今後の取組 (修正・改善等)	今後もケアマネジャー等と協力しながら高齢者の各種在宅サービスを実施し、高齢者の自立と生活の質の確保、寝たきり予防に寄与する。 外出支援車両の的確な運用と更新の見極めを行う。 必要な情報を地域に提供し、災害時や緊急時の際に活用してもらうことを検討する。

6. 部内評価会議の結果 <最終評価>・・・行政評価

実施日	最終評価	今後の取組(修正・改善等)【最終結果】
R06.07.18	A	今後も各種在宅サービスを継続することで、高齢者の自立と生活の質の確保、ねたきり予防を推進する。 外出支援用車両の運用については、更新等を的確に見極め、利用者の利便・安全を確保する。

大田原市事務事業評価兼実施計画シート

令和7年度版

★ PDCAサイクルを回して事務事業を改善しよう！

1. 基本事項

事務事業名		老人保護措置事業				事業番号	196	評価年度	令和7年度事業
担当名		部 名	課 名	係 名		優先度	A	シート区分	総合計画
予算科目		会計名	款・項・目	事業(大)	事業(中)	事業(小)	施策	No.	
事業期間		□単年度 □複数年度		(~	年度)		
計画		おおたわら国造りプラン							
計画での位置付け		政策		政策4 いたわり、支えあい、すべての市民が健康で安心して暮らせる心のかよったまちづくり		No.		4	
一般会計		03.01.03	0071	02	00	基本事業		23	
実施内容		(23)高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実							

2. 計画(Plan)

(1) 計画内容	対象	この事業で誰(何)を対象にしているかを、具体的に記入します。 環境上の理由及び経済的理由により在宅において生活することが困難な高齢者
	目的	何のためにこの事業を行うかを記入します。 環境上の理由及び経済的理由により在宅において生活することが困難な高齢者を入所させ養護するとともに、その者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行う。
	手段	この事業のためどのような行政活動を行うかを記入し、この行政活動の結果からつくり出すものを活動指標欄(下記)に記入します。 措置についての相談は随時受け、生活環境や経済状況を調査した上で、入所判定委員会を開催し、措置の実施を決定する。
	成果	この事業を行うことによって、どのような成果・効果があるか記入し、その最終的な成果を成果指標欄(下記)に記入します。 環境上の理由及び経済的理由により在宅において生活することが困難な高齢者を措置入所することにより、心身の健康の保持及び生活の安定が図れる。

(2) 指標設定	指標内容		指標名称		目標値の算出式(又は方法)		目標値		単位
	活動指標	行政活動の結果からつくりだすもの	① 調査件数	前年度実績	18	件			
成果指標	事業実施による最終的な成果・効果	① 入所者数	前年度末在所者数	39	件				
		②							
		③							

3. 実行 (Do)

(1) 事業の実施状況 (前年度比較等) ※新規事業は事業が必要な理由及び概要	保護措置を必要とする高齢者に対して必要な措置を実施し、日常生活を安定させた。緊急で保護を要する高齢者へ粘り強く対応し、的確に助言するとともに迅速に措置を実施した。
(2) 備考	

(3) コスト計算	内 容		令和5年度	令和6年度		
			決算額	予算額		
事業費計			127,677	118,034		
財 源 内 訳	国庫支出金		0	0		
	県支出金		0	0		
	地方債		0	0		
	その他特定財源		16,555	18,001		
	一般財源		111,122	100,033		
(c) コストの対前年比				92.45%		

4. 評価 (Check)

(1) 妥当性 評価	評価内容			評価点数	合計点数	妥当性評価
	①	自治体が実施するのが妥当な事業である(あった)か。	妥当性	高い・・・	4	16
②	計画(対象・目的・手段)は妥当である(あった)か。	やや高い・・・		3		
③	資金(税金)投入は妥当である(あった)か。	やや低い・・・		2		
④	上位政策・施策を達成するのに妥当である(あった)か。	低い・・・		1		

(2) 効率性 評価	活動指標名	目標値 a	実績値 b	指標の性質		達成率 b/a	効率性評価	
		単位					各指標評価	指標全体評価
①	調査件数	18	23	1	増加指標	127.80 %	a	a
②					算定不可	%		
③					算定不可	%		

(3) 有効性 評価	成果指標名	目標値 c	実績値 d	指標の性質		達成率 d/c	有効性評価	
		単位					各指標評価	指標全体評価
①	入所者数	39	48	1	増加指標	123.10 %	a	a
②					算定不可	%		
③					算定不可	%		

(4) 担当課 評価	前年度記載 今後の取組 (修正、改善 等)		対象者や関係機関への積極的な調査と緊急時の迅速な対応をさらに強化する。
	前年度から の改善結果	改善した	対象者や関係機関へ積極的な調査と調整を行った。緊急時には迅速な対応を適切に実施した。
	評価表からの 評価	担当課 評価	評価の理由等
	A	A	様々な事情により保護措置を必要とする高齢者が増加しており、保護中の高齢者も居ることから事業は不可欠である。 養護老人ホームへの入所相談、短期入所や措置入所等について、緊急時にも迅速に対応することができた。

5. 今後の取組に向けて (Act)

(1) 事業実施上の 課題等	高齢者の実態を把握し、必要がある場合は迅速に措置を実施する必要がある。 各関係機関(基幹型支援センター、包括支援センター、社会福祉協議会、民生員等)と連携し、綿密な情報交換や調整を行う必要がある。
(2) 今後の取組 (修正・改善等)	対象者や関係機関への積極的な調査、調整を行うと共に、緊急時の対応をさらに強化する。

6. 部内評価会議の結果 <最終評価>・・・行政評価

実施日	最終評価	今後の取組(修正・改善等)【最終結果】
R06.07.18	A	様々な事情により保護を必要とする高齢者等に対し、引き続き適切な保護を実施する必要がある。 短期入所措置など、迅速に対応する必要があるケースに対して、柔軟に対応する。

大田原市事務事業評価兼実施計画シート

令和7年度版

★ PDCAサイクルを回して事務事業を改善しよう！

1. 基本事項

		事業番号	192	評価年度	令和7年度事業
		優先度	B	シート区分	総合計画
事務事業名	敬老費				
担当名	部 名	課 名	係 名		
	保健福祉部	高齢者幸福課	高齢支援係		
予算科目	会計名	款・項・目	事業(大)	事業(中)	事業(小)
	一般会計	03.01.03	0072	01	00
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度 (~ 年度)				

計 画	おおたわら国造りプラン	
	計画での位置付け	No.
政策	政策4 いたわり、支えあい、すべての市民が健康で安心して暮らせる心のかよったまちづくり	4
施策	(23)高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実	23
基本事業		

2. 計画(Plan)

(1) 計画内容	対 象	この事業で誰(何)を対象にしているかを、具体的に記入します。 敬老会補助金・・・令和3年度76歳、令和4年度77歳、令和5年度78歳、令和6年度79歳、令和7年度以降80歳以上の高齢者 敬老祝金・・・80歳、100歳、101歳以上
	目 的	何のためにこの事業を行うかを記入します。 敬老会補助金・・・自治会等が高齢者の長寿を祝う敬老会を主催する場合に自治会等に対し補助金を交付する。 敬老祝金・・・敬老祝金を贈ることにより、長寿を祝福し、敬老の意を表す。
	手 段	この事業のためどのような行政活動を行うかを記入し、この行政活動の結果からつくり出すものを活動指標欄(下記)に記入します。 敬老会補助金・・・自治会等が開催する敬老会の費用を助成する。 敬老祝金・・・敬老のお祝いを、80歳は地域の民生委員に配布をお願いし、100歳と101歳以上は市長及び高齢者幸福課で配布する。
	成 果	この事業を行うことによって、どのような成果・効果があるか記入し、その最終的な成果を成果指標欄(下記)に記入します。 自治会等が主催する敬老会に補助することで、地域ぐるみで高齢者の長寿を祝う事業を支援する。 敬老祝金を贈ることにより、市として長寿を祝福し、敬意を表する趣旨がある。

(2) 指標設定	指 標 内 容		指 標 名 称	目 標 値 の 算 出 式 (又 は 方 法)	目 標 値	単 位
	活動指標	行政活動の結果からつくりだすもの	①	敬老会補助申請数	前年度の実績	188
	②					
	③					
成果指標	事業実施による最終的な成果・効果	①	敬老祝金交付人数	前年度の80歳、100歳以上の交付実績	652	人
		②				
		③				

3. 実行 (Do)

(1) 事業の実施状況 (前年度比較等) ※新規事業は事業が必要な理由及び概要	要綱に基づき、対象者に対して補助金、祝い金を交付した。市民の長寿を祝うため実施しているものであり、市民からは好評である。
(2)備考	

(3) コスト計算	内 容		令和5年度	令和6年度		
			決算額	予算額		
	事業費計		20,971	22,689		
財 源 内 訳	財 源 内 訳	国庫支出金	0	0		
		県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	0		
		一般財源	20,971	22,689		
(c) コストの対前年比				108.19%		

4. 評価 (Check)

(1) 妥当性 評価	評価内容			評価点数	合計点数	妥当性評価
	①	自治体が実施するのが妥当な事業である(あった)か。	妥当性	高い・・・	4	13
②	計画(対象・目的・手段)は妥当である(あった)か。	やや高い・・・		3		
③	資金(税金)投入は妥当である(あった)か。	やや低い・・・		2		
④	上位政策・施策を達成するのに妥当である(あった)か。	低い・・・		1		

(2) 効率性 評価	活動指標名	目標値 a	実績値 b	指標の性質		達成率 b/a	効率性評価		
		単位					各指標評価	指標全体評価	
①	敬老会補助申請数	188	件	189	1	増加指標	100.50	%	a
②						算定不可		%	
③						算定不可		%	

(3) 有効性 評価	成果指標名	目標値 c	実績値 d	指標の性質		達成率 d/c	有効性評価		
		単位					各指標評価	指標全体評価	
①	敬老祝金交付人数	652	人	739	1	増加指標	113.30	%	a
②						算定不可		%	
③						算定不可		%	

(4) 担当課 評価	前年度記載 今後の取組 (修正、改善 等)		【敬老会補助金】令和7年度まで基準年齢の引き上げや、自治会加入者名簿の加除確認の徹底、施設入所者の取り扱いを自治会宛て周知する。また、 ・自治会負担減のため、政策推進課取扱いの「自治会運営費補助金」等との事務集約を検討することとする。 【敬老祝金】 ・令和2年度から祝金の額を一部見直したため、周知を徹底し理解を得ていく。
	前年度からの 改善結果	改善した	【敬老会補助金】基準年齢の引き上げや、自治会加入者名簿の加除確認の徹底、施設入所者の取り扱い等の自治会宛て周知を実施した。 【敬老祝金】祝金の額について問い合わせが未だにあるため、説明に取り組んだ。
	評価表からの 評価	担当課 評価	評価の理由等
	A	A	要綱上に定められた敬老祝金、敬老会補助金交付の目的は達成していると考えられる。

5. 今後の取組に向けて (Act)

(1) 事業実施上の 課題等	【敬老会補助金】対象者確認用として市作成の自治会加入者名簿を各自治会に配布しているが、一部未確認で申請する自治会がありトラブルが発生することがある。基準年齢の引き上げを実施するため、関係者への周知を徹底する必要がある。 【敬老祝金】対象者が増加傾向にあるため、配布協力先である民生委員の負担、対象者の把握・配布に係る事務量及び事業費の増加が懸念される。
(2) 今後の取組 (修正・改善等)	【敬老会補助金】引き続き基準年齢の引き上げや自治会加入者名簿の加除確認の徹底、施設入所者の取り扱い等を自治会宛てに周知する。 【敬老祝金】対象者について把握に努めると共に、民生委員に広報周知を行い、理解を得ていく。

6. 部内評価会議の結果 <最終評価>・・・行政評価

実施日	最終評価	今後の取組(修正・改善等)【最終結果】
R06.07.18	A	敬老会補助金は、引き続き、対象年齢の引き上げに関する周知を徹底する。自治会等組織の活動に留意しながら、補助対象などの見直しを図る。 敬老祝金は、対象者の適切な把握に努めると共に、民生委員など関係者へ適切に協力依頼を行っていく。

大田原市事務事業評価兼実施計画シート

令和7年度版

★ PDCAサイクルを回して事務事業を改善しよう！

1. 基本事項

							事業番号	198	評価年度	令和7年度事業																	
							優先度	A	シート区分	総合計画																	
事務事業名 高齢者いきがい対策事業							計 画	おおたわら国造りプラン																			
担当名								計画での位置付け		No.																	
<table border="1"> <tr> <td>部 名</td> <td>課 名</td> <td colspan="4">係 名</td> </tr> <tr> <td>保健福祉部</td> <td>高齢者幸福課</td> <td colspan="4">高齢支援係</td> </tr> </table>							部 名	課 名	係 名				保健福祉部	高齢者幸福課	高齢支援係				政策	政策4 いたわり、支えあい、すべての市民が健康で安心して暮らせる心のかよったまちづくり		4					
部 名	課 名	係 名																									
保健福祉部	高齢者幸福課	高齢支援係																									
<table border="1"> <tr> <td>予 算 科 目</td> <td>会 計 名</td> <td>款・項・目</td> <td>事業(大)</td> <td>事業(中)</td> <td>事業(小)</td> <td>施策</td> <td>(23)高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般会計</td> <td>03.01.03</td> <td>0574</td> <td>01</td> <td>00</td> <td>基本事業</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							予 算 科 目	会 計 名	款・項・目	事業(大)	事業(中)	事業(小)	施策	(23)高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実	23		一般会計	03.01.03	0574	01	00	基本事業					
予 算 科 目	会 計 名	款・項・目	事業(大)	事業(中)	事業(小)	施策	(23)高齢者福祉の充実と介護保険事業の充実	23																			
	一般会計	03.01.03	0574	01	00	基本事業																					
事業期間							<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度 (~ 年度)																				

2. 計画(Plan)

(1) 計画内容	対 象	この事業で誰(何)を対象にしているかを、具体的に記入します。 ①いきいきクラブ(老人クラブ)及びその会員等 ②自主的趣味活動を行う団体及び個人
	目 的	何のためにこの事業を行うかを記入します。 高齢者の生きがいがづくり及び介護予防を推進するため、いきいきクラブ(老人クラブ)や自主的な趣味活動を行うグループの活性化を図る。
	手 段	この事業のためどのような行政活動を行うかを記入し、この行政活動の結果からつくり出すものを活動指標欄(下記)に記入します。 ①単組及び市老人クラブ連合会の活動・運営を支援する。(補助金交付・情報提供・助言・PRなど) ②清流荘等で活動する自主活動グループに対し活動の場を提供する。
	成 果	この事業を行うことによって、どのような成果・効果があるか記入し、その最終的な成果を成果指標欄(下記)に記入します。 いきいきクラブ(老人クラブ)や自主活動グループが活性化することで高齢者の生きがいがづくりや介護予防が促進され、介護給付費や高齢者福祉事業費の削減、健康寿命の延伸、地域の活性化を図れる。

(2) 指標設定	指 標 内 容		指 標 名 称		目標値の算出式(又は方法)	目標値	単位
	活動指標	行政活動の結果からつくりだすもの	①	単位老人クラブ補助金	前年度実績	47	件
②							
③							
成果指標	事業実施による最終的な成果・効果	①	単位老人クラブ数	前年度実績	47	クラブ	
		②	清流荘・佐良土多目的交流センター陶芸室使用許可時間数	前年度実績	917	時間	
		③					

3. 実行 (Do)

(1) 事業の実施状況(前年度比較等) ※新規事業は事業が必要な理由及び概要	①単位老人クラブ、老人クラブ連合会に対して補助金を交付し、活動費の一部を支援した。 ②自主グループ活動に対しては、清流荘、佐良土多目的交流センター等の施設貸出しを行い、活動の場を提供した。(施設使用料徴収あり)
(2)備考	令和3年度から、ほほえみセンター活動促進事業及びささえ愛サロン事業費補助金交付事業を介護保険特別会計(保健福祉事業)へ移行した。 令和2年度の高齢者いきがい講座廃止に伴い、令和3年度から自主活動グループ支援として、清流荘(希望の家)及び佐良土多目的交流センター陶芸室の貸出しを行っている。

(3) コスト計算	内 容		令和5年度	令和6年度		
			決算額	予算額		
事業費計						
財 源	内 訳	国庫支出金	0	0		
		県支出金	865	568		
		地方債	0	0		
		その他特定財源	0	108		
		一般財源	6,285	9,148		
(c) コストの対前年比				137.40%		

4. 評価 (Check)

(1) 妥当性 評価	評価内容			評価点数	合計点数	妥当性評価
	①	自治体を実施するのが妥当な事業である(あった)か。	妥当性	高い・・・	4	14
②	計画(対象・目的・手段)は妥当である(あった)か。	やや高い・・・		3		
③	資金(税金)投入は妥当である(あった)か。	やや低い・・・		2		
④	上位政策・施策を達成するのに妥当である(あった)か。	低い・・・		1		

(2) 効率性 評価	活動指標名	目標値 a	単位	実績値 b	指標の性質	達成率 b/a	効率性評価		
							各指標評価	指標全体評価	
①	単位老人クラブ補助金	47	件	46	1	増加指標	97.90	%	a
②						算定不可		%	a
③						算定不可		%	

(3) 有効性 評価	成果指標名	目標値 c	単位	実績値 d	指標の性質	達成率 d/c	有効性評価		
							各指標評価	指標全体評価	
①	単位老人クラブ数	47	クラブ	46	1	増加指標	97.90	%	a
②	清流荘・優良士多目的交流センター遊芸室使用許可時間数	917	時間	823	1	増加指標	89.70	%	b
③						算定不可		%	b

(4) 担当課 評価	前年度記載 今後の取組 (修正、改善 等)		いきいきクラブ(老人クラブ)活動推進、清流荘等の自主的活動支援に努め、健康寿命の延伸に寄与する。
	前年度から の改善結果	改善した	いきいきクラブ(老人クラブ)活動推進、清流荘等の自主的活動支援に努めた。それぞれの団体等の活動に参加することにより、高齢者の健康寿命の延伸に寄与していると推測される。
	評価表からの 評価	担当課 評価	評価の理由等
	A	A	高齢者の自主的な趣味活動を支援するため、相談対応等の支援や施設貸出しを適切に行っている。クラブ数や参加者数などが減少傾向にあるが、高齢者の生活を豊かなものにするともに明るい長寿社会づくりに資する目的があることから、既存の活動について支援すると共に、新規参加者の増による活性化に取り組む必要がある。

5. 今後の取組に向けて(Act)

(1) 事業実施上の 課題等	単位老人クラブや利用団体等において高齢化が進んでおり、新規加入者の確保や円滑な事業継承等について懸念がある。適切に指導していくと共に、事業実施内容についても確認していく必要がある。
(2) 今後の取組 (修正・改善等)	単位老人クラブや利用団体等の活動の活性化や、清流荘等の施設利用促進に努める。また、団体等に対する適切な助言等を行うと共に、運営状況や事業実施状況についても留意していく。

6. 部内評価会議の結果 <最終評価>・・・行政評価

実施日	最終評価	今後の取組(修正・改善等)【最終結果】
R06.07.18	A	高齢者のいきがづくりのため、引き続きいきいきクラブ(老人クラブ)に対する補助を実施する必要がある。清流荘等の施設管理について、適切に維持管理を行うと共に、自主的活動等利用者の増加に努める。